

# 事務事業総点検に係る対応方針

## 地域振興部

所管部署	事務事業名	今後の方向性	具体的な取り組み内容	備考
地域振興総務課	産業振興対策事業	改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業振興ワーキンググループは平成25年7月に任期満了。今後は、市民意見の取り入れ方を検討しつつ、総務省の統計等を活用して、産業振興策の企画・立案を行う。</li> <li>大阪府都市競艇組合については、引き続き円滑に連絡調整を行う。売上拡大に向けては、収益分配金の使途の明確化と併せて、ホームページへのリンク掲載などを検討する。(一次評価で指摘を受けた「競艇場で行われる物産展」には、従来から参加している。)</li> </ul>	二次点検・評価
生涯学習課	生涯学習市民センター活動委員会事業	現状のまま継続	<p>活動委員会事業は、市として生涯学習を推進するにあたり、市民との協働で各生涯学習市民センターを利用して行う、より身近で市民ニーズに対応した事業である。</p> <p>この事業は、行政と市民が協働で行うことで、市民の様々な生涯学習のきっかけ作りとなる事業を安価で安心な事業として提供している。また、新たなふれあい交流の場として、その後、自主的に多様な生涯学習を進めていただくための機会を提供している。</p> <p>今後、市民の活動状況や、民間の動向も十分調査しながら、各センター活動委員会間の意見交換会や、担当職員の情報交換等により連携を深め、事業内容を精査するとともに、活動委員会全体のレベルアップに努め、行政としてより効果的・効率的に関わり、事業を実施していく。</p>	三次点検・評価
文化観光課	国内友好都市交流推進事業	改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業は、様々な地域や人との交流を促進することで、市民のふるさと意識の醸成を図るとともにまちの魅力を広く発信し、まちを活性化し将来のまちづくりにつなげるためのものである。特に若い感性の豊かな世代が、一般的な観光ではなく、友好都市の魅力(酪農や漁業体験、野外キャンプなど)を実地体験し、同時に自分のまちの魅力に気づき発信できるようになり、若者たちが将来、まちづくりに参加して貢献していくことを目指している。</li> <li>「少年少女ふれあいの翼」参加者(中学生)のフィードバックについては、感想文を提出してもらうとともに友人等への参加を促しているが、今後、感想文をホームページに掲載することや友好都市物産展のブースでの写真や体験談の展示、地域メディアを活用し参加者が体験談を披露するなど検討していく。また、教育現場での発表の場づくりなど教育委員会との連携も模索していく。</li> </ul>	三次点検・評価

所管部署	事務事業名	今後の方向性	具体的な取り組み内容	備考
文化観光課	友好・交流都市物産展開催事業	改善	今後も広く市民に友好都市の特産物の普及・宣伝を行うとともに、物産販売を通して広く市民に友好都市への理解と関心、愛着を醸成する事を目的として実施する。 また、国内友好都市交流推進事業との統合については、実績測定や目標の設定が異なり、効果の検証を効果的に行うために今後も独立して行う。	二次 点検・評価
文化観光課	菊フェスティバル開催事業	改善	これまでの委託先である枚方市公園緑化協会が解散したことを受け、今後は枚方文化観光協会に事業を委託する。枚方文化観光協会は「枚方と菊」に関する歴史的な知識と、豊富なイベント開催の経験があることから、各事業主体との連携が図れ、ソフト面においても一層掘り下げた菊文化の発信ができるものと考えている。	二次 点検・評価
文化観光課	菊人形支援事業(補)	改善	今まで運営支援を担っていた公園緑化協会が解散したことで、会則や役員体制の整備、運営関係書類や会計帳簿類の作成、通帳管理、物品購入や各種支払の手続きなど、これまでより自主運営に関する負担が増える。市民ボランティア団体である菊人形の会が自主運営を継続的にできるよう、菊人形の制作を指導できる者の育成や、人形菊の安定した確保などについての支援を行う。また、菊人形の会の活動を効果的に発信するため、市で開催するイベントに出展する機会を模索するなど検討する。	二次 点検・評価
文化観光課	花と音楽のまちづくり推進事業	改善	本事業は花と音楽のまちづくりに焦点をあて、まちの魅力を高めることを目的とするテーマ・指針であり、魅力発信事業と類似する点も多く、今後は両事業の統廃合を含めより効果的な魅力発信方法の検討を行っていく。	三次 点検・評価
文化観光課	くずはアートギャラリー運営補助事業	現状のまま継続	京阪電鉄、枚方市文化国際財団、市の三者の役割を踏まえ、現在、毎月実施している三者協議の場などでさらに効率的な事業運営を実施するための方策を検討し、連携を図りながら共同運営を行っていく。	二次 点検・評価

所管部署	事務事業名	今後の方向性	具体的な取り組み内容	備考
文化観光課	文化振興事業	改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化振興事業の単位設定にあたり、将棋イベントのほか、アートのスポットの運営、漢字クイズ大会の開催など複数の事業を括り、共通の事業名、目的を設定したもの。</li> <li>・本事業のほか、具体的な文化事業は、外郭団体が主に担っており、芸術文化にかかる鑑賞事業、市民支援事業、人材育成事業などを実施している。また、子ども芸術育成支援事業などの事業も展開しており、さまざまな文化事業をこの文化振興事業と合わせて展開している。しかし、事業を精査する中で、現在、将棋イベントのみが残った状態となっており、今後、単位事業の設定見直しをする必要がある。</li> <li>・将棋イベントについては、トッププロである佐藤九段と子ども達が直接触れ合うことでプロの凄さを感じ、夢を育むきっかけになる事業として実施しているが、事業のあり方について検討を行う。</li> </ul>	三次 点検・評価
文化観光課	文化芸術の振興に関する条例策定審議会運営事務	休・廃止	<p>平成25年7月末に文化芸術の振興に関する条例策定審議会から答申を受け、答申と同時に審議会の任期は終了していることから、本事務についても終了する。</p> <p>なお、条例制定後には文化芸術振興審議会を別途設置し、振興計画等について検討を進めていく。</p>	一次 点検・評価
文化観光課	文化芸術振興条例の制定事務	休・廃止	<p>本事務は、条例の制定をもって終了となるが、条例制定後には文化芸術振興計画の策定が必要となることから、本計画の策定に向けて取り組みを進めていく。</p>	一次 点検・評価
文化観光課	枚方市駅市民サービスセンター改修事業	休・廃止	<p>改修効果については、物産売上額の前年比などにより効果の検証を行う予定。</p>	一次 点検・評価
産業振興課	テイクオフ補助事業	現状のまま継続	<p>「テイクオフ事業」は直営。「創業支援事業」は委託事業であるため、コスト面における支出形態が異なる。単に事務事業総点検の項目上の統合は可能だが、実際に行っている事業の統合は不可能である。</p>	二次 点検・評価

所管部署	事務事業名	今後の方向性	具体的な取り組み内容	備考
産業振興課	創業支援事業	改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域活性化支援センター運営事業」における三次点検の指摘も踏まえ、創業支援事業とセンター運営事業との整理統合を行う方向で検討する。</li> <li>・「テイクオフ事業」は直営。「創業支援事業」は委託事業であるため、コスト面における支出形態が異なる。単に事務事業総点検の項目上の統合は可能だが、実際に行っている事業の統合は不可能である。</li> </ul>	二次点検・評価
産業振興課	地域活性化支援センター運営事業	改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー開催をはじめとした事業の進捗状況およびその効果・必要性について、センター会議等において適宜検証と見直しを行うことで、ニーズに沿った効果的な事業となるように改善していく。</li> <li>・中小企業基本法において地方自治体は中小企業政策の「策定」から「実施」までを行う「責務」が定められていること、また、本市の産業振興基本条例においても、市の役割として中小企業者の発展に向けた施策など、産業振興の推進に必要な措置を講じるよう努めるものと定めていることから、行政として中小企業支援の拠点として地域活性化支援センターを設置し運営している。</li> <li>・事業目的の達成および費用対効果の検証のための調査分析および数値化については、その手法も含めて調査研究を行うことを検討する。</li> <li>・センター事業と創業支援事業については、事務事業単位の統合の方向で検討する。</li> </ul>	三次点検・評価
産業振興課	商店街等活性化促進事業(補)	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・費用対効果として、支援メニューの一つである「販売促進事業」については、事業実施時の来街者及び売上高の通常時対比の報告を求めているが、即効性のあるものばかりでなく長期的効果が見えてくるものもあると考えており、事業全体の費用対効果を数値化することは困難である。しかし、中長期的に元気な商店街が1つでも増えるような効果的な補助金事業となっているかなど、交付件数等の指標設定を用いて費用対効果に留意した制度構築を引き続き検討する。</li> <li>・行政は中小小売商業振興法や枚方市産業振興基本条例に基づき商店街振興を図っており、地場小売業の集積である商店街の活性化を図ることは地域経済の活性化および循環性の回復につながるものである。また、地域コミュニティの担い手でもある商店街を行政が支援して活性化を図ることは、住民生活に関わる地域社会の基盤整備につながるものと考えている。</li> </ul>	二次点検・評価

所管部署	事務事業名	今後の方向性	具体的な取り組み内容	備考
産業振興課	枚方宿地区出店促進事業(補)	現状のまま継続	当該事業は、「枚方市都市景観形成要綱」の規定により歴史的景観保全地区として指定した枚方宿地区における事業であり、都市整備推進室にて所管する枚方宿歴史的景観保全地区修景助成事業との連携の下、行われているもので、他自治体との類似事業との検証等はかなわず、また、成果目標においても売り上げ等の数値的データを求めているかは不明であるが、指定した当該地区内において、景観の保全と賑わいの創出の下、新規出店を行う事業者の経費を補助する内容であるので、出店舗の売上高を確認して成果目標と見るのは異質と考える。当該地区の賑わいづくりに努めるため空き地、空き家への新規出店の促進に向けた手法と既存出店者等と定期的な情報共有を図り、当該事業の検証を検討する。	二次 点検・評価
産業振興課	産業振興キャラクター活用事業	現状のまま継続	枚方市観光大使「くらわんこ」は、NPO法人「枚方文化観光協会」が観光キャラクターとして独自に製作したもので、その使用にあたっては、協会の承諾が必要となっている(着ぐるみの使用は協会会員限定)。一方、産業振興キャラクター「ひこぼしくん」は、「枚方市産業振興基本条例」の制定を契機に新たな産業振興策を講じるため、枚方市ならではの産業振興について話し合っていたために結成された市民のグループである、「産業振興ワーキンググループ」の提案を受け、七夕伝説ゆかりの地として、交野市の「おりひめちゃん」とも連携するため、枚方市が製作し、特に事業者などに広く活用していただくことを目的にしている。したがって、棲み分けを意識するのではなく、それぞれの使用目的に応じて枚方市をアピールし、まちの魅力を発信している。	二次 点検・評価
産業振興課	産業振興コーディネート事業	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市では、意欲を持って積極的に活性化に取り組んでいる商店街等を選定し支援することでモデル的な商店街活性化ノウハウをまとめ、他の商店街等に参考にしてもらうことを目的としているため、一つの商店街を重点的に数年かけてコーディネーターを派遣することは考えていない。</li> <li>・本事業は、商店街等活性化促進事業と同様、即効性のあるものばかりではなく長期的に効果が見えてくるものもあると考えており、費用対効果を数値化することは困難である。本事業は、実施後3年を目処と考えており、中長期的に元気な商店街が1つでも増えるような効果的なものとなるようまとめを作成するとともに事業の有効性を見極め、必要であれば商店街等活性化促進事業のメニューの一つに組み込むことも検討する。</li> <li>・行政は中小小売商業振興法や枚方市産業振興基本条例に基づき商店街振興を図っており、地場小売業の集積である商店街の活性化を図ることは地域経済の活性化および循環性の回復につながるものである。また、地域コミュニティの担い手でもある商店街を行政が支援して活性化を図ることは、住民生活に関わる地域社会の基盤整備につながるものと考えている。</li> </ul>	二次 点検・評価

所管部署	事務事業名	今後の方向性	具体的な取り組み内容	備考
産業振興課	大規模小売店舗届出受理事務	現状のまま継続	引き続き、制度の周知に努め、適正な指導を行う。	一次 点検・評価
農政課	土地改良事業補助事業	現状のまま継続	当課では市内41団体の水利団体を把握しており、各団体が地域の状況に応じた良好な農空間の保全並びに農業生産基盤の整備に努めている。本市のような都市型農業を維持していくには、水利団体が農用地の保全又は利用上必要な施設の改修等を行うことは農業生産上当然必要なことであり、市としても農業者側に対して応分の負担を求めながら、金銭的及び技術的な支援を行っていく必要がある。	二次 点検・評価
農政課	農業団体育成事業	現状のまま継続	事業の明確化及び効果検証については、農業団体との話し合いを行った上で、より効果的な事業となるよう見直していく。	二次 点検・評価
農政課	新規就農研修事業	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単に食料の生産・供給という観点だけでなく、食の安全・安心など消費者の視点、6次産業化、都市農業を担う人材の育成など、総合的な視点で事業を推進していく。</li> <li>・「楽しく夢のある農業」、「未来農都市」等貴重なアドバイスをいただいております。この趣旨も踏まえ、関係機関にも協力いただき、さまざまな機会やツールを活用して内外に広く情報発信していく。また、夢や生きがいを持てるような就農支援等フォローアップの仕組みづくりに取り組んでいく。</li> </ul>	三次 点検・評価
里山振興課	ナラ枯れ対策(伐倒くん蒸処理)事業	休・廃止	国家事業である森林整備加速化・林業再生事業が平成23年度に終了したことにより、平成24年度は大阪府からの補助を受けて、委託による伐倒くん蒸処理を行ってきたが、平成25年度より森林整備加速化事業が復活し、大阪府が主体で事業を進めていくため、枚方市は府に対して事業を実施してもらえよう要望していく。	一次 点検・評価